

島根県雇用対策審議会
令和 4 年 10 月 14 日
島根県教育委員会

令和 5 年 3 月高校卒業予定者の進路希望状況等について

1. 進路希望状況等（県立、市立、私立の全日制、定時制の合計）

- ・ 進学希望者、就職希望者の割合は前年同時期と同じ

【8月末時点】

（単位：人）

年度	全体	進学	就職	就職		未決定	
				県内	県外		
R 2	5,874	4,522 (77%)	1,335 (23%)	1,042 (78%)	293 (22%)	17 (0.3%)	
R 3	5,607	4,428 (79%)	1,161 (21%)	906 (78%)	255 (22%)	18 (0.3%)	
	5,548	4,380 (79%)	1,153 (21%)	900 (78%)	253 (22%)	15 (0.3%)	
R 4	対 R 3 増減	▲59	▲48 (±0%)	▲8 (±0%)	▲6 (±0%)	▲2 (±0%)	▲3 (±0%)
	対 R 2 増減	▲326	▲142 (+2%)	▲182 (▲2%)	▲142 (±0%)	▲40 (±0%)	▲2 (±0%)

【参考】新規高校卒業者の求人等の状況 ※ 島根労働局資料（R 4 年 7 月末現在）

- ・ 全体的には新型コロナウイルスによる影響前の水準に戻ってきている。

〈産業別〉

- ・ 製造業の求人数増加の理由としては、受注増加による人手不足のほか、技術継承の必要があるため、若手の人材の確保に向けた動きが原因。
- ・ 医療・福祉は、企業が高卒求人から専門学校卒業者等（有資格者）に求人をシフトしたことが原因。

（単位：人）

年度	建設	製造	卸・小売	宿泊・飲食	生活関連・娯楽	医療・福祉	その他	計	
R 元	623	790	306	284	92	227	597	2,919	
R 2	633	555	251	150	38	242	540	2,409	
R 3	715	696	269	154	45	216	523	2,618	
	747	858	299	180	52	216	619	2,971	
R 4	対 R 3 増減	+32	+162	+30	+26	+7	±0	+96	+353
	対 R 2 増減	+114	+303	+48	+30	+14	▲26	+79	+562

〈地区別〉

- ・ 隠岐地区の求人数減少は、高校の就職希望者が少ないため、企業が高卒求人から一般求人に切り換えたことが原因。

（単位：人）

年度	安来	松江	雲南	出雲	大田	川本	浜田	益田	隠岐	合計	
R 元	188	1,010	178	798	79	82	280	264	40	2,919	
R 2	87	848	126	634	79	82	254	251	48	2,409	
R 3	109	879	139	696	85	97	272	282	59	2,618	
	132	1,011	164	806	93	96	307	319	43	2,971	
R 4	対 R 3 増減	+23	+132	+25	+110	+8	▲1	+35	+37	▲16	+353
	対 R 2 増減	+45	+163	+38	+172	+14	+14	+53	+68	▲5	+562
	就職希望者	36	363	33	307	33	16	134	129	24	1,075
	求人倍率	3.67	2.79	4.97	2.63	2.82	6.00	2.29	2.47	1.79	2.76

2. 就職に係るスケジュール

時 期	内 容
6月1日以降	ハローワークにおける求人受理開始
7月1日以降	各企業から学校への求人票送付開始
7月上旬～8月上旬 8月中旬～8月下旬 9月上旬～9月下旬	生徒・保護者への進路説明会、三者面談、応募前職場見学 校内進路会議（生徒ごとに希望する1社を決定） 面接練習、筆記試験指導
9月5日以降	学校から各企業へ推薦開始（企業へ願書提出）
9月16日以降	各企業における採用選考開始、採用内定の開始

3. 就職に係る学校の状況（進路指導主任等からの聞き取り）

（1）学校の就職指導

- ・ 教員は、地元企業との情報交換会や企業ガイダンスに参加し、地域の実状を知り、生徒への進路指導に活かした。
- ・ 高校魅力化コンソーシアムの取組として、地域と連携し、地元企業の情報を生徒等に伝えた。
- ・ 生徒が希望する職種が無い場合、高卒求人Webサイトなどを活用しながら、希望する職種の求人票を学校に送ってもらうように対応。

（2）企業の応募前職場見学

- ・ 応募前見学の時期に新型コロナウイルスの感染拡大により、保護者、生徒の希望で学校側から県外企業にオンラインでの説明会に変更を依頼したケースがあった。
- ・ 新型コロナウイルス感染のため、応募前見学の日程を変更した結果、見学が8月下旬になる生徒もあり、志望先決定が例年よりも遅くなる傾向があった。

4. 就職支援の取組等（労働局、商工労働部、教育委員会の連携）

- ・ 早い段階からのハローワークによる求人掘り起し
- ・ 求人の確保、求人取消し及び内定取消しを出さないよう経済4団体に対し求人に関する要請を実施
- ・ 生徒が希望する職種の求人が無い場合、県教育委員会と商工労働部が連携し新規求人の開拓を実施
- ・ 企業の人事担当者と各学校の進路担当者との情報交換会の開催
- ・ 商工労働部（人材確保育成コーディネーター）と連携し、各地域における企業ガイダンス、職業人講話、企業見学バスツアーの実施
- ・ 応募前職場見学の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインを活用するなど、学校と企業が連携した取組を実施
- ・ 面接時等に不適切な選考が行われないよう、企業への注意喚起